

三朝町望ましい小学校施設等検討委員会 第1回会議 会議録

- 1 日 時 令和2年1月27日（月）午後6時～午後7時30分
- 2 会 場 三朝町役場2階 第2会議室
- 3 出席者 【委 員】別紙名簿のとおり
【オブザーバー】戸田氏に代わり湯本氏と山下氏が出席
【事務局】西田教育長・藤井課長・小谷指導主事・福田主査
- 4 概 要 【辞令交付】検討委員会委員として8名に辞令交付
【目的と要綱】策定審議会の設置目的と設置要綱について説明
【議 事 等】検討委員会の設置イメージと学校施設づくりのコンセプト、現段階での小学校施設整備検討内容について説明
各委員からの意見提案
- 5 内 容
- (1) 教育長あいさつ
- ・3つの小学校が統合し、今年度から三朝小学校がスタート。春からさまざまなことがあったが、無事学校運営が進められている。
 - ・小中学校では交流事業が進められている。
 - ・現在の小学校校舎には多くの課題があり、新たな校舎について、その構想を委員の皆さんに検討してもらいたい。
- (2) 検討委員会の設置目的と設置要綱について
- ・現在、小学校施設の基本設計を業者に依頼しているところだが、その望ましい整備に向けては、専門的知見を有する委員の皆さんから幅広い意見をいただき、本町にふさわしい施設の整備に資するため、本検討委員会を設置した。
 - ・任期は6月を目標とし、それまでに基本設計の確定へつなげたいと考えている。
- (3) 委員長および副委員長の選出について
- 委員長：宮脇儀裕氏 副委員長：大坂芳郎氏
- (4) 現段階での小学校整備検討内容について
- ・現校舎は昭和42年に整備されたもので、築50年以上が経過している。
 - ・現状、教室の広さや更衣室の不足など課題が多い状況となっている。
 - ・将来を見据え、必要な整備等の意見をいただきたい。

(5) 意見交換（提案意見等列挙）※・委員意見 →事務局説明

- ・教室の形（四角形）は、廊下の活用次第であり、オープンスペースを有効に使えるのが望ましい。
- 現在の校舎の大きさは2,785㎡で、H22に耐震補強工事がされている。
- 小学校施設の建設候補地は、バス路線の近くが良いと考えている。
- ・中学校の敷地を候補地として検討するなら、現在の小学校敷地を駐車場や校庭として整備するなどの検討も必要。
- 現段階で小学校施設検討としているが、昨年と今年の出生数は30人以下であり、今から15年後には小中学校とも全学年が1クラスとなることも想定される。
- ・中学校の敷地に小学校の校舎を建設する場合、小・中の校庭、駐車場などの確保が難しいことに加え、敷地、建物とも手狭となる時期から、数年後少子化により教室が余る時期が到来するまで、各段階の検討が必要。
- ・現小学校施設には教室数の確保等、今対応できるかどうかの検討が大事。
- ・小学校施設を建設するためには、単純に、今の中学校の倍の施設が必要となるのではないか。
- 現在の小学校敷地には水源があるため、新たな施設の建設は難しいのではないかと考えている。
- ・災害に対する観点は重要であり、たとえ少しでも洪水などの危険性があるならそうした場所への建設はやめた方がいいのではないか。
- ・小中一貫校では、6年生が学校のリーダーになれないことが課題とされており、小中別とする区切りがあることが望ましい。
- ・小中一貫や義務教育学校は教育的効果の観点で疑問を抱いているが、小中連携は必要だと感じている。
- ・小中が同じ敷地内にあっても塀で区切られているところもあり、また、プールを併用しようと思うと設備に費用がかかる。
- ・まず現在の学校を見てみる必要がある。加えて詳しい基本データや配置を見て検討する必要がある。

閉 会

※ 次回は2月28日（金）午後1時30分～ 詳細は別途案内